

常磐東小学校 校長だより

常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年4月30日(金)

その3

◇ 蕨の波と～♪ 雲の波～♪

♪いらかの波と 雲の波～♪ ♪重なる波の 中空を～♪
♪橘(たちばな) 香る朝風に～♪ ♪高く泳ぐや こいのぼり～♪

ご存じ、童謡「こいのぼり」の歌詞である。小さな子供が上空の「こいのぼり」を見上げた様子がよく分かる。しかし、本校はいささかニュアンスが異なる。



本校バージョンなら、こんな感じになる。

♪青木川の波と 高架の波～♪ ♪緑囲む波の 中空を～♪
♪梅の実香る 東小に～♪ ♪幾重の滝登りよ こいのぼり～♪

すっかりGWの風物詩となった「常磐東小学校のこいのぼり」。

去年は実施を見合わせたため、2年ぶりのお披露目である。

まるで学校行事のようだが、そうではない。元は滝町発祥の地域行事である。

明日からのGWに合わせ、4月25日（日）に鈴木雅登県議を中心に、滝町を中心とする有志の方が整えてくださった。

気持ちよく泳ぐ「こいのぼり群」を改めて見てみると、常磐東小学校前というのは、絶好のこいのぼり掲揚エリアである。

県道を通る車両から見える無数のこいのぼりは、運転者をリラックスさせる。車を停車してじっくりとこいのぼりを眺めたければ、鼎橋を渡って学校前に停車させればよい。

青木川堤防の階段を下りれば、下からこいのぼりを眺めることができる。気持ちよさそうに風に乗って泳ぐ無数のこいのぼりを下から見るのは、また趣が異なる。絶好の写真撮影スポットでもある。

下に川が流れているのもいい。見方によっては、本物の川を泳いでいるようにさえ見える。

最もよいのは、学校を背景に見る位置かもしれない。白亜の校舎と色とりどりのこいのぼりが重なる景色は、私がつける最高点。写真を撮影し、コンテストにでも応募してみようか…。

見守り隊長の山本さんの話によれば、もともとは旧道の滝町・青木川に掲げられていたものをこちらに移したと聞く。人の流れを考慮したのだから、掲揚作業もしやすく、見栄えも最高で、何より子供たちが季節の風物詩を身近に見られるのがよい。しかもスケールが違う。これだけ大掛かりなのは、めったにない。

伝統文化を体験した者は、よさを実感して成長する。そして、大切にすることだ。